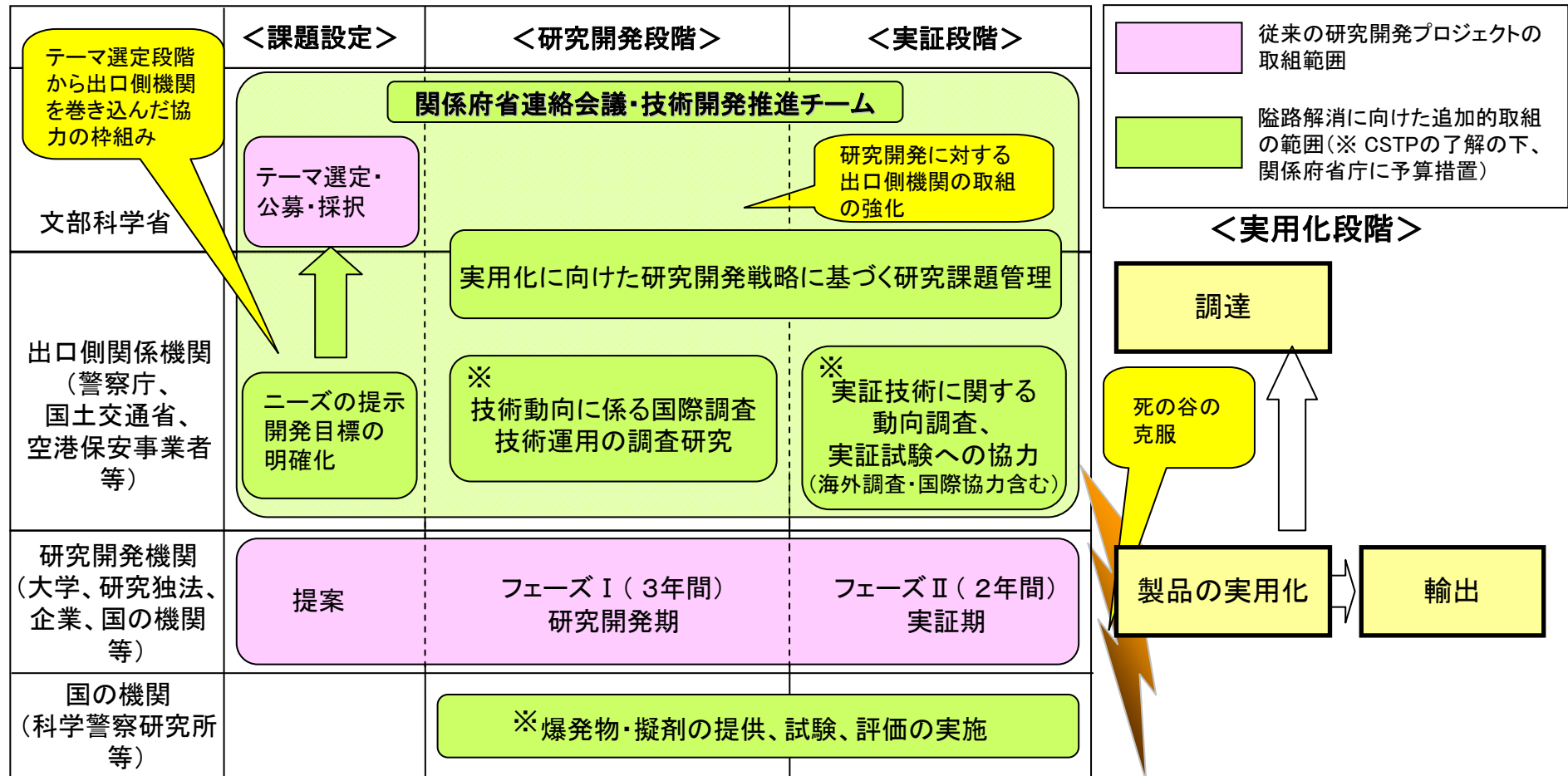


安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム (科学技術振興調整費)

平成22年度予算額:296億円の内数(新規)

犯罪・テロ対策技術等の安全・安心な社会の構築に資する科学技術について、関係府省の連携体制の下、ユーザーとなる公的機関のニーズに基づいた研究開発を実施し、実用化につなげる。

(例:爆発物の探知技術開発を行う場合)



安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム 平成22年度採択課題

テーマ	関係府省庁	提案課題名	責任機関名	研究代表者名
(テーマ1) 爆発物・危険物検知装置の開発	警察庁、 国土交通省	自動サンプリング式トレース検出システム	株式会社日立製作所 中央研究所	坂入 実
		ミリ波パッシブイメージング装置の開発と実用化	東北大学	澤谷 邦男
(テーマ3) 核物質探知装置の開発	警察庁	ガンマ線による核物質非破壊検知システム	京都大学	大垣 英明
(テーマ4) ポータブル違法薬物検知装置の開発	警察庁、 海上保安庁	薬物検知用オンサイト質量分析計の開発	科学警察研究所	井上 博之
(テーマ6) 化学剤現場検知システムの開発	警察庁	化学剤の網羅的迅速検知システムの開発	科学警察研究所	瀬戸 康雄
(テーマ7) 化学剤遠隔検知システムの開発	消防庁、防衛省	中赤外電子波長可変レーザーによる遠隔検知	独立行政法人理化学研究所	和田 智之
(テーマ8) 人物画像解析システムの開発	警察庁、 公安調査庁	人物映像解析による犯罪捜査支援システム	大阪大学	八木 康史
		環境適応型で実用的な人物照合システム	オムロン株式会社技術本部	労 世紅
(テーマ9) 化学防護服の改良	警察庁、消防庁、 海上保安庁	陽圧式化学防護服の軽量化等	株式会社重松製作所	稲井 巡

* テーマ2, テーマ5についてはH22年度は採択課題なし * 全課題に関係する府省庁として内閣官房、内閣府

(テーマ2) X線検査装置の開発

(テーマ5) 現場鑑識資料可視化システムの開発